

工事の げんば 現場より

旧矢筈原家住宅 保存修理事業

今はこんな様子だよ。

1月5週目



今回工事の主な目的は茅葺屋根の葺替と破損箇所^{おも かやぶき やね ふきかえ はそん}の修理、及び耐震補強工事です。このため内部の
建具や畳^{たてぐ たたみ}は一時撤去し、一部の壁や床^{てつきよ かべ ゆか}の解体を行います。室内に展示してある民具^{かいたい}が作業の支障^{みんぐ ししょう}となる
ため、工事に影響^{えいきょう}の無い箇所へ移動しました。

またこの工事に合わせて、室内にある仏壇^{ぶつだん}の修理も実施します。仏壇は外部に運び出し専門業者の手
により修理が行われますが、大変大きなもののため、運び出しは大変な苦勞がありました。



建物^{たても}も民具^{みんぐ}も傷つけないよう、細心の注意^{きはら}を払い運びます。運
搬は美術品運送の経験が豊富な専門業者が行いました。



民具^{みんぐ}は工事作業に支障^{ししょう}の無い場所に移動しまとめました。
1年以上の工事期間中、この場で保管し守り続けていきます。



仏壇^{ぶつだん}の運び出しの前に、中の仏具^{ぶつぐ}を取り出し
ました。一つずつ丁寧^{ていねい}に梱包^{こんぼう}し箱詰めし、搬
出しています。

どれも大事な宝物！

大切に守り続けるため、

丁寧に仕事を進めます。



仏壇^{ぶつだん}は幅^{はば}約 1.7m、高さ約 1.9m、奥行き約 1.1m もの大きなもので当然重量も大
きく、かつ古く繊細^{せんさい}なものであったため、運び出しは慎重^{しんちょう}に行いました。